



2025年3月17日

各 位

会 社 名 株式会社 サイバーリンクス  
代表者名 代表取締役社長 東 直樹  
(コード番号：3683 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 執行役員 総合管理部長 鳥居 孝行  
(TEL. 050-3500-2797)

### 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、その機能を向上させることを目的として、当社コーポレートガバナンス・ガイドラインに基づいて取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 分析・評価方法について

2024年12月期を評価対象期間として取締役会の実効性を分析・評価するにあたり、すべての取締役に「取締役会評価に関する質問票」を配付し、その回答結果を基に取締役会において議論を行いました。

##### <質問票の項目>

- ・取締役会の運営について
- ・取締役会での審議充実に向けて
- ・取締役会を支える体制について
- ・取締役会における監査等委員である取締役の役割・期待の発揮に向けて
- ・株主との関係充実に向けて
- ・役員自身の取り組みについて
- ・その他自由記載

#### 2. 分析・評価結果について

##### (1) 分析・評価結果の概要

以下の観点から、取締役会の実効性は確保できていると評価いたしました。

- ① 取締役会の開催頻度、資料の検討時間、議題の提案時期、審議事項は適切であり、審議に十分な時間が確保されている。
- ② 社外取締役の業界や経営に関する知識・経験・能力が確保されている。
- ③ 取締役会の議事進行は適切であり、自由に発言できる雰囲気になっている。
- ④ 審議に必要な情報提供の機会確保や外部専門家の活用等、取締役会を支える体制については、適切に整備されている。
- ⑤ 取締役（監査等委員を含む。）と内部監査室との連携体制は十分整えられている。

前年度の調査と比較し、代表取締役社長の交代のほか取締役会体制の見直しにより、中長期的な視点における後継者計画について、改善が図られました。

前年度の課題であった、社外取締役が事業戦略の決定や計画策定に参画できるような機会の提供は、2025年度の経営計画の策定に社外取締役が参画することにより改善が図られました。一方で、経営課題の提示と対応策についての議論充実等については、引き続き改善の余地があると認められました。

## (2) 評価結果から抽出された課題

当社取締役会の実効性を更に高めるために取り組むべきこととして、以下の課題を抽出いたしました。

- ① 経営課題の提示・対応策の審議、事業に影響する主要なリスク、中期経営計画、および、投資家・株主とのコミュニケーションについて議論を活性化させること。
- ② 取締役会は、認知度向上と市場における適正な評価を得るために様々なステークホルダーに対して積極的に情報発信を行うこと。
- ③ ジェンダーを含めた取締役会の構成員の多様性を確保すること。
- ④ 社外取締役がより充実したサポートを受けられる体制を整備すること。

## 3. 今後の対応について

当社は、2025年3月28日開催予定の当社第61期定時株主総会の承認を条件として、独立社外取締役2名の選任を予定しております。加えて、「指名・報酬委員会」を通じ、事業の特性に応じ、ジェンダーを含む取締役会構成員の多様性を段階的に確保することを進めていく方針です。

また、上記2.(2)で抽出された課題の改善に取り組み、取締役会の実効性の更なる向上に努め、より充実したコーポレート・ガバナンスと企業価値向上を目指してまいります。

以上